

佐賀の沸騰 武雄の葛藤

出兵か、拒絶か

佐賀の乱(佐賀戦争)一五〇年企画展

明治7年、政府に不満を持つ佐賀士族たちは「沸騰」。佐賀の乱(佐賀戦争)が起こります。武雄にも佐賀士族たちから出兵が要請され、出兵しなければ大軍で攻撃すると脅迫されます。佐賀の乱(佐賀戦争)に巻き込まれた武雄の葛藤と選択を紹介します。

令和6年

観覧無料 | 会期中無休

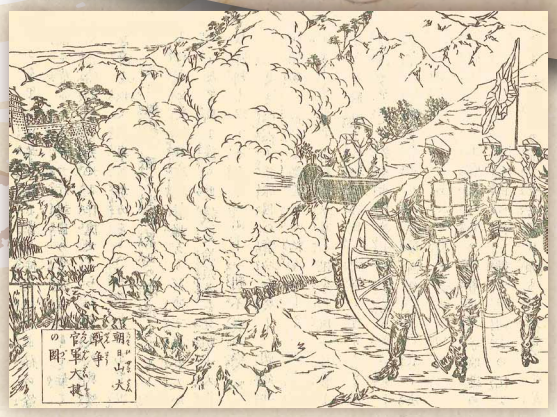
1月27日(土) - 2月25日(日)

主催 | 開催場所

武雄市図書館・歴史資料館
蘭学・企画展示室

〒843-0022
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105

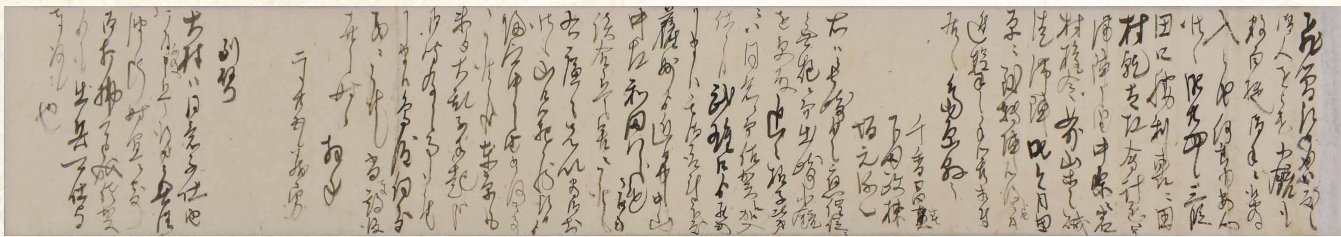
日~木 9:00 - 17:00
金・土 9:00 - 18:00



ギャラリートーク(3回開催)
2月3日[土]・12日[月・振替休日]・17日[土]
いずれも14:00~

写真上から 書状 [武雄鍋島家資料・武雄市] / 達書 [武雄鍋島家資料・武雄市]
佐賀電信録 [武雄市]より / 近世四戦紀聞 [武雄市]より





後藤保明肖像写真 [個人蔵]

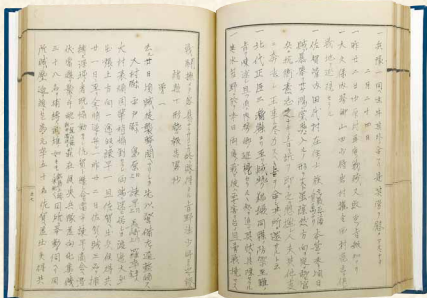


佐賀の乱(佐賀戦争)一五〇年企画展

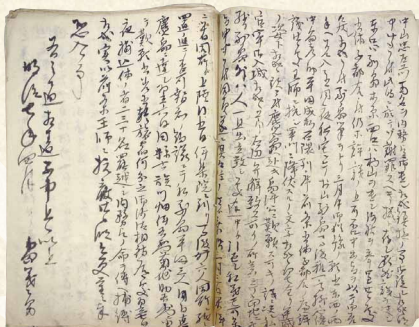
佐賀の沸騰 武雄の葛藤

出兵か、拒絶か

明治七年 佐賀動乱諸報告 [佐賀県立図書館]



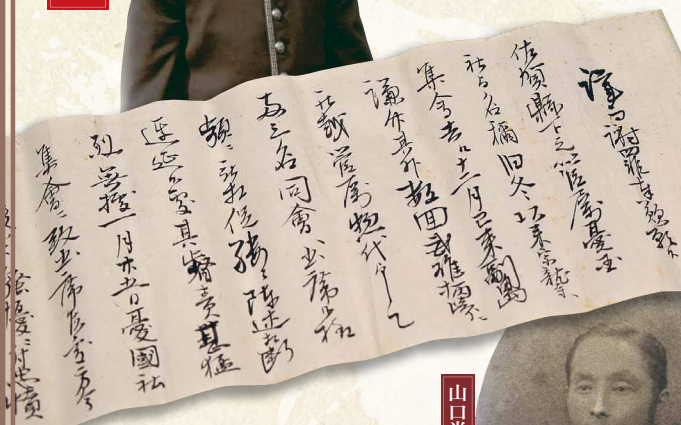
口述書 [佐賀県立博物館]



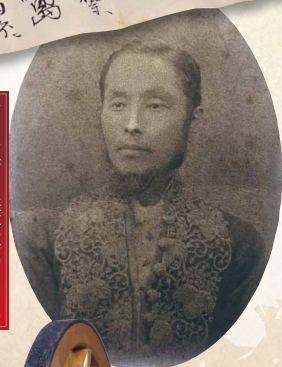
鍋島茂昌肖像写真 [武雄鍋島家資料・武雄市]



謹而謝罪奉歎願候 [武雄鍋島家資料・武雄市]



山口尚芳肖像写真 [武雄市]



アームストロング砲(復元) [武雄市]



明治7年2月15日、明治新政府に不満を持つ佐賀の士族たちが、佐賀城を襲いました。佐賀の乱(佐賀戦争)のはじまりです。この後、各地で発生する士族反乱の嚆矢となった戦いに、武雄は巻き込まれました。

江戸時代後期の武雄領主、鍋島茂義は、西洋の先進的な科学技術を積極的に導入し、その成果を佐賀藩にもたらしました。幕末日本の中で、強大な軍事力を抱えた佐賀藩は、戊辰戦争で活躍。茂義の息子茂昌は、羽州方面の佐賀軍の総指揮官として、明治新政府の勝利に貢献しました。戊辰戦争での活躍が高く評されたことや、愛国党を率いた佐賀の島義勇と茂昌がいとこ同士であったことなどから、佐賀の不平等士族たちは武雄を味方に引き込もうとします。武雄では、出兵要請を拒絶していましたが、次第に要求が激化。出兵しなければ大軍で武雄を攻撃すると脅迫され、武雄は改めて出兵か拒絶か、選択が迫られました。

武雄からは、やむを得ず64名を佐賀士族たちの元に派遣しました。一方、米欧回覧使節の副使を務めた武雄出身の山口尚芳は、新政府より騷擾鎮撫の使命を帯び、事態の收拾に努めます。また戦争に加担した武雄が、戦後赦免された背景にも山口尚芳の奔走がありました。

2024年は佐賀の乱(佐賀戦争)から150年という節目の年です。本企画展では、出兵か拒絶かで揺れ動く武雄の葛藤と決断を、資料とともに紹介します。

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
E-mail:epochal@city.takeo.lg.jp



<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>

